

北海道日本海沿岸の設計津波水位検討委員会の議事概要について

1. 検討会の概要

- 日 時：第 1 回委員会 平成 27 年 10 月 20 日開催
第 2 回委員会 平成 28 年 11 月 29 日開催
第 3 回委員会 平成 29 年 3 月 29 日開催
- 場 所：第 1 回委員会 北海道立道民活動センター（かでの 2. 7）7 階 730 研修室
第 2 回委員会 北海道立道民活動センター（かでの 2. 7）7 階 730 研修室
第 3 回委員会 北海道第 2 水産ビル 3 階 3G 会議室

2. 議事概要（検討内容）

（1）設計津波水位の検討の流れについて

- ・日本海沿岸に影響を与えた過去津波、想定される津波の抽出
- ・海岸形状等により設定した地域海岸における設計津波対象群の考え方
- ・数値計算による地域海岸毎の設計津波水位の設定

（2）地域海岸毎の設計津波の候補となる津波の検討について

- ・歴史記録、文献等による被災記録が残されている調査資料の津波高さを整理し以下の過去津波を抽出した。また想定津波について併せて検討した。

◇過去津波

- 1) 1940 年 神威岬（積丹半島沖）地震津波
- 2) 1983 年 日本海中部地震津波
- 3) 1993 年 北海道南西沖地震津波

◇想定津波

平成 26 年 9 月国公表の津波断層モデルに基づく今後起こりうる想定される津波（34 モデル）と、北海道の日本海沿岸に影響を与えると想定した北海道独自モデル（2 モデル）の計 36 モデル

- ・地域海岸について、下記の視点を考慮し設定することについて検討した。
 - 1) 海岸線の形状、海岸線の向き・連続性、岩崖・岬等の地形条件
 - 2) 津波の浸水範囲の連続性、津波の高さレベルの同一性
 - 3) 港湾や漁港等の防波堤等が存在することによる、隅角部での津波の収斂等により局所的な津波高変化や水位の差が大きくなる場合
 - 4) 行政区分

（3）設計津波水位の設定

- ・海岸堤防による「せり上がり」を考慮した津波水位を整理し、背後状況を考慮したうえで地域海岸毎に設定した設計津波水位を委員会で検討した。